

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公表番号】特表2008-529104(P2008-529104A)

【公表日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-030

【出願番号】特願2007-539302(P2007-539302)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/50 (2006.01)

G 0 9 G 5/02 (2006.01)

G 0 9 G 5/14 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

B 0 5 D 5/06 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/50 6 8 0 Z

G 0 9 G 5/02 B

G 0 9 G 5/14 A

G 0 9 G 5/36 5 1 0 Z

B 0 5 D 5/06 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定数のティント $T_1 \sim T_n$ の組み合わせから構成された候補塗色を目標塗色と整合させるコンピュータ実施方法であって、

(a) ビデオモニタの第 1 のフィールド内に、目標塗色のレンダリングを表示するステップと、

(b) 前記ビデオモニタの第 2 のフィールド内に、初期候補塗色のレンダリングを表示するステップと、

(c) 前記ビデオモニタの他のそれぞれのフィールド内に、前記ティント $T_1 \sim T_n$ の各々のレンダリングを表示するステップと、

(d) 前記ティントの 1 つの選択に応じて、所定量の前記初期候補色への所定調整量の前記選択ティントの追加により生成された第 1 の更新候補塗色を格納域から呼び出すステップと、

(e) 前記ビデオモニタの前記第 2 のフィールド内の表示を更新して前記第 1 の更新候補塗色のレンダリングを表示するステップと、

(f) 前記第 2 のフィールド内にレンダリングされた前記第 1 の更新候補塗色を、前記第 1 のフィールド内にレンダリングされた前記目標塗色と比較して、容認可能な色整合を判定するステップとを含み、改良が、

(g) 前記比較の結果に基づいて、前記ティントのいずれかの選択によりステップ (d) ～ (f) を反復して繰り返すステップであって、反復毎に、

直前の候補色への所定調整量の前記選択ティントの追加により生成された次の更新候補塗色が、それに応じて決定された記憶域から呼び出されるとともに前記第 2 のフィールド

内に表示され、

繰り返しが、最終的な次の更新候補色および前記目標色のレンダリング間で容認可能な色整合が達成されるまで続くステップと、

(h) 容認可能な色整合の達成時、またはM (Mは1より大きい整数) 回の反復数後、前記初期候補色に追加された各ティントの調整量数を集計して、前記最終的な次の更新候補色を生成するステップと、をさらに含む、

ことを特徴とする方法。

【請求項2】

デジタルコンピュータに、所定数のティント $T_1 \sim T_n$ の組み合わせから構成された候補補修塗色を調整するコンピュータ実施方法を行わせるプログラム命令を含む機械読み取り可能な記憶媒体であって、前記方法が、

(a) ビデオモニタの第1のフィールド内に、目標塗色のレンダリングを表示するステップと、

(b) 前記ビデオモニタの第2のフィールド内に、初期候補塗色のレンダリングを表示するステップと、

(c) 前記ビデオモニタのそれぞれの他のフィールド内に、前記ティント $T_1 \sim T_n$ の各々のレンダリングを表示するステップと、

(d) 前記ティントの1つの選択に応じて、所定量の前記初期候補色への所定調整量の前記選択ティントの追加により生成された第1の更新候補塗色を格納域から呼び出すステップと、

(e) 前記ビデオモニタの前記第2のフィールド内の表示を更新して前記第1の更新候補塗色のレンダリングを表示するステップと、

(f) 前記第2のフィールド内にレンダリングされた前記第1の更新候補塗色を、前記第1のフィールド内にレンダリングされた前記目標塗色と比較して、容認可能な色整合を判定するステップとを含み、

前記方法が、

(g) 前記比較の結果に基づいて、前記ティントのいずれかの選択によりステップ (d) ~ (f) を反復して繰り返すステップであって、反復毎に、

直前の候補色への所定調整量の前記選択ティントの追加により生成された次の更新候補塗色が、それに応じて決定された記憶域から呼び出されるとともに前記第2のフィールド内に表示され、

繰り返しが最終的な次の更新候補色および前記目標色のレンダリング間で容認可能な色整合が達成されるまで続くステップと、

(h) 容認可能な色整合の達成時またはM (Mは1より大きい整数) 回の反復数後に、前記初期候補色に追加された各ティントの調整量数を集計して、前記最終的な次の更新候補色を生成するステップとをさらに含む、

ことを特徴とする機械読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0069

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0069】

上記のように本発明の教示の利益を受ける当業者は多数の変更を行い得る。そのような変更は添付の特許請求の範囲により規定されているように、本発明の意図内にあるものと解釈されるべきである。

次に、本発明の好ましい態様を示す。

1. 所定数のティント $T_1 \sim T_n$ の組み合わせから構成された候補塗色を目標塗色と整合させるコンピュータ実施方法であって、

(a) ビデオモニタの第1のフィールド内に、目標塗色のレンダリングを表示するステ

ップと、

(b) 前記ビデオモニタの第2のフィールド内に、初期候補塗色のレンダリングを表示するステップと、

(c) 前記ビデオモニタの他のそれぞれのフィールド内に、前記ティント $T_1 \sim T_n$ の各々のレンダリングを表示するステップと、

(d) 前記ティントの1つの選択に応じて、所定量の前記初期候補色への所定調整量の前記選択ティントの追加により生成された第1の更新候補塗色を格納域から呼び出すステップと、

(e) 前記ビデオモニタの前記第2のフィールド内の表示を更新して前記第1の更新候補塗色のレンダリングを表示するステップと、

(f) 前記第2のフィールド内にレンダリングされた前記第1の更新候補塗色を、前記第1のフィールド内にレンダリングされた前記目標塗色と比較して、容認可能な色整合を判定するステップとを含み、改良が、

(g) 前記比較の結果に基づいて、前記ティントのいずれかの選択によりステップ(d) ~ (f) を反復して繰り返すステップであって、反復毎に、

直前の候補色への所定調整量の前記選択ティントの追加により生成された次の更新候補塗色が、それに応じて決定された記憶域から呼び出されるとともに前記第2のフィールド内に表示され、

繰り返しが、最終的な次の更新候補色および前記目標色のレンダリング間で容認可能な色整合が達成されるまで続くステップと、

(h) 容認可能な色整合の達成時、またはM (Mは1より大きい整数) 回の反復数後、前記初期候補色に追加された各ティントの調整量数を集計して、前記最終的な次の更新候補色を生成するステップと、をさらに含む、

ことを特徴とする方法。

2. (i) 前記集計された調整量の各ティントを前記初期候補塗色の所定量の塗料に追加することにより、塗料を混合するステップをさらに含む、

上記1に記載の改良方法。

3. 前記表示ステップ(a)の前に、

(i) 前記ビデオモニタ上に色着色チャートのレンダリングを表示する準備ステップと、

(j) 前記所定の目標色を前記色着色チャートから選択する準備ステップとをさらに含む、

前記チャートが利用可能な目標塗色の各々を特定する色スペクトルを有する、

上記1に記載の改良方法。

4. 前記表示ステップ(b)の前に、

(k) 前記ビデオモニタ上に色着色チャートのレンダリングを表示する準備ステップと、

(l) 前記初期候補補修色を前記色着色チャートから選択する準備ステップとをさらに含む、

前記チャートが利用可能な候補塗色の各々を特定する色スペクトルを有する、

上記3に記載の改良方法。

5. 前記利用可能な候補塗色の各々を特定する前記色スペクトルを有する前記色着色チャートが、前記候補塗料の処方を特定する標識も含む、

上記4に記載の改良方法。

6. 前記第2のフィールドが、ディスプレイ上で前記第1のフィールドに対して当接関係で並列されている、

上記1に記載の改良方法。

7. 前記第1のフィールドが、前記ディスプレイ上の前記第2のフィールドに近接しているが離間されている、

上記1に記載の改良方法。

8. 前記ティントの各々用の前記フィールドが、前記ディスプレイ上の前記第2のフィールドに対して当接関係で並列されている、

上記1に記載の改良方法。

9. 前記ビデオ画面の前記フィールドが、色順応のために無彩色周囲背景色内でレンダリングされる、

上記1に記載の改良方法。

10. デジタルコンピュータに、所定数のティント $T_1 \sim T_n$ の組み合わせから構成された候補補修塗色を調整するコンピュータ実施方法を行わせるプログラム命令を含む機械読み取り可能な記憶媒体であって、前記方法が、

(a) ビデオモニタの第1のフィールド内に、目標塗色のレンダリングを表示するステップと、

(b) 前記ビデオモニタの第2のフィールド内に、初期候補塗色のレンダリングを表示するステップと、

(c) 前記ビデオモニタのそれぞれの他のフィールド内に、前記ティント $T_1 \sim T_n$ の各々のレンダリングを表示するステップと、

(d) 前記ティントの1つの選択に応じて、所定量の前記初期候補色への所定調整量の前記選択ティントの追加により生成された第1の更新候補塗色を格納域から呼び出すステップと、

(e) 前記ビデオモニタの前記第2のフィールド内の表示を更新して前記第1の更新候補塗色のレンダリングを表示するステップと、

(f) 前記第2のフィールド内にレンダリングされた前記第1の更新候補塗色を、前記第1のフィールド内にレンダリングされた前記目標塗色と比較して、容認可能な色整合を判定するステップとを含み、

前記方法が、

(g) 前記比較の結果に基づいて、前記ティントのいずれかの選択によりステップ(d)～(f)を反復して繰り返すステップであって、反復毎に、

直前の候補色への所定調整量の前記選択ティントの追加により生成された次の更新候補塗色が、それに応じて決定された記憶域から呼び出されるとともに前記第2のフィールド内に表示され、

繰り返しが最終的な次の更新候補色および前記目標色のレンダリング間で容認可能な色整合が達成されるまで続くステップと、

(h) 容認可能な色整合の達成時またはM(Mは1より大きい整数)回の反復数後に、前記初期候補色に追加された各ティントの調整量数を集計して、前記最終的な次の更新候補色を生成するステップとをさらに含む、

ことを特徴とする機械読み取り可能な記憶媒体。

11. 前記改良方法が、

(i) 前記集計された調整量の各ティントを前記初期候補塗色の所定量の塗料に追加することにより、塗料を混合するステップをさらに含む、

上記10に記載の機械読み取り可能な記憶媒体。

12. 前記改良方法が、前記表示ステップ(a)の前に、

(i) 前記ビデオモニタ上に色着色チャートのレンダリングを表示する準備ステップと、

(j) 前記所定の目標色を前記色着色チャートから選択する準備ステップとをさらに含む、

前記チャートが利用可能な目標塗色の各々を特定する色スペクトルを有する、

上記10に記載の機械読み取り可能な記憶媒体。

13. 前記改良方法が、前記表示ステップ(a)の前に、

(k) 前記ビデオモニタ上に色着色チャートのレンダリングを表示する準備ステップと、

(l) 前記初期候補補修色を前記色着色チャートから選択する準備ステップとをさらに

含み、

前記チャートが利用可能な候補塗色の各々を特定する色スペクトルを有する、
上記 1 2 に記載の機械読み取り可能な記憶媒体。

1 4. 前記利用可能な候補塗色の各々を特定する前記色スペクトルを有する前記色着色チ
ャートが、前記候補塗料の処方特定する標識も含む、

上記 1 3 に記載の機械読み取り可能な記憶媒体。